

# 令和8年度 当初予算 一般会計

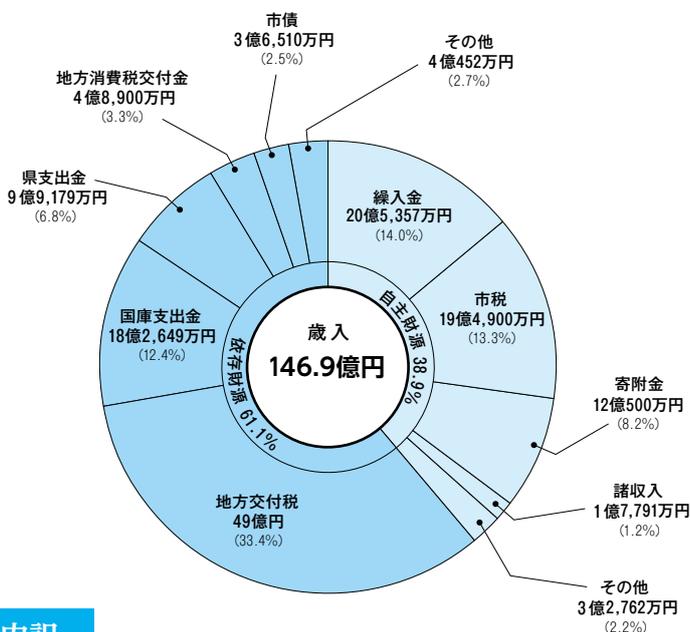
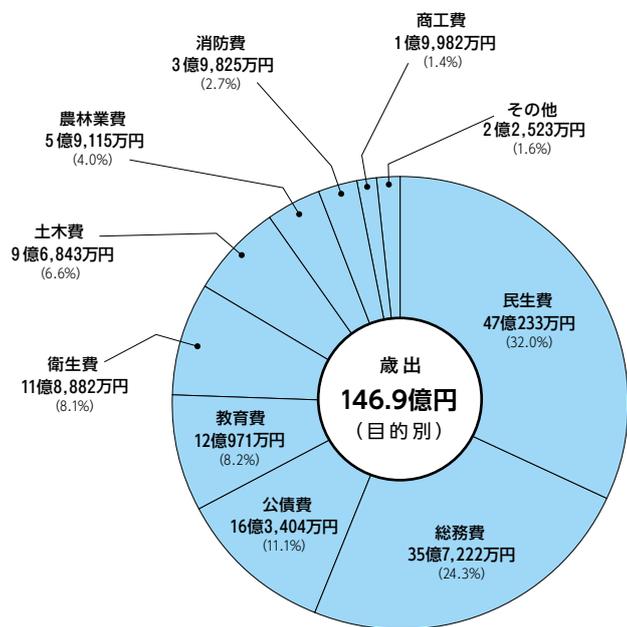
# 146.9億円

前年度比2・3%減!

令和8年度の一般会計の予算総額は、146億9,000万円です。前年度当初予算と比較して3億5,000万円の減(2・3%減)になりました。

政府の令和8年度地方財政計画では、物価高の中で、経済・物価動向等を適切に反映するとともに、社会保障関係費や人件費、いわゆる教育無償化に係る地方負担の増などを歳出に計上し、地方団体が、様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるように、地方交付税等の一般財源総額について、令和7年度を上回る額を確保するとされたものの、多久市は自主財源比率が38・9%であるため、厳しい財政状況に変わりありません。

このため令和8年度予算編成は堅実経営で臨み、「行政評価」に基づく事業評価結果を踏まえ、財源確保に最大限の努力を行い、事業費について検証し、持続可能な財政運営を基調とした予算編成を行いました。



## 歳出の主な用途

- 民生費…福祉や子育て支援に
- 総務費…行政運営に
- 公債費…借入金の返済に
- 教育費…学校維持整備や教育振興に
- 衛生費…ごみ処理や市民の健康増進に
- 土木費…道路、橋りょう等維持整備や下水道会計への繰出に
- 農林業費…農林産業の振興に
- 消防費…消防・防災に
- 商工費…商工業の振興に
- その他…議会運営、災害対策、雇用対策、用地取得等に

## 市税の内訳

区分	予算額
市民税	7億9,697万円
固定資産税	9億3,406万円
軽自動車税	7,870万円
市たばこ税	1億3,458万円
入湯税	469万円
合計	19億4,900万円

市税では、6,886万円の増を見込んでいます。内訳として、市民税は個人分、法人分を合わせて5,418万円の増、固定資産税は2,465万円の増、軽自動車税は412万円の減、市たばこ税は694万円の減、入湯税は109万円の増を見込んでいます。

## 公営企業会計

会計別	予算額	前年比
下水道事業	11億4,517万円	△6.2%

## 特別会計

会計別	予算額	前年比
宅地造成事業	935万円	3.5%
国民健康保険事業	25億5,445万円	△1.9%
後期高齢者医療	4億3,735万円	24.6%

国民健康保険事業特別会計の減は、保険給付費見込みの減による保険料などの納付金の減が主たる要因です。また、後期高齢者医療特別会計については医療費が増加傾向にあり、保険料などの納付金が増えています。